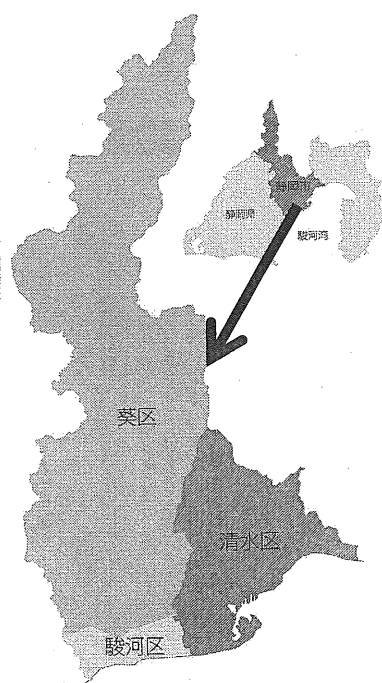


静岡市の協働事業提案制度



はじめまして、静岡市です。



静岡市の協働事業提案制度

静岡市では、ふたつの協働事業提案制度を設けています。

協働事業に係るノウハウの習得と事例作りのための仕組み

→協働パイロット事業 (H16年度～)

NPOと市が協働事業について相互に提案し合う仕組み

→市民活動協働市場 (H17年度～)

ふたつの提案制度ができるまで

平成14年度

◆ 市民活動懇話会設置

平成15年度

◆ 「市民活動基本指針策定に向けた提言～

キックオフ！静岡市民都市宣言」を市長に提出

◆ 提言をたたき台として、

「市民活動と行政の協働のための基本指針」策定

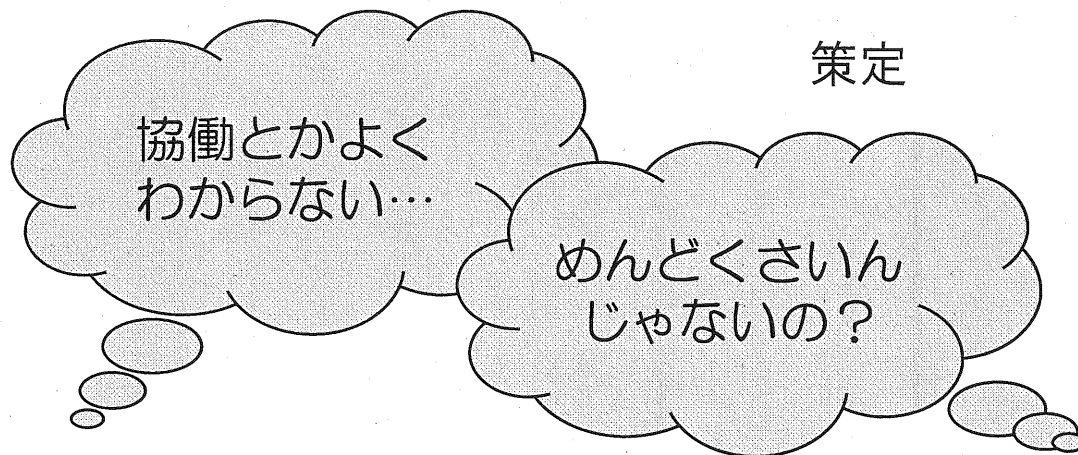


ふたつの提案制度ができるまで

平成16年度

◆「NPOと行政の協働事業推進マニュアル」

策定



協働パイロット事業スタート

実際にやってみるのがいちばんだ！！

→協働パイロット事業

- NPO担当課が選考前に予算要求・執行
 - 年度中に募集・選考・実施
 - 最大4事業×25万円
 - 審査委員会が書類と面接により選考
-

協働パイロット事業 事例①

竹害に悩む放置竹林対策

NPO法人しずおか環境教育研究会

× 農林総務課

放置されたことで、隣接する住宅地や耕作地に侵出して害を与え、周囲の景観も悪化させる竹林の伐採作業を行う。

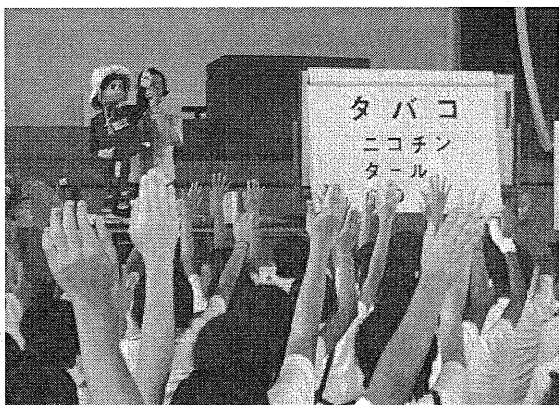


協働パイロット事業 事例②

タバコ喫煙の低年齢化を予防するための

『小中学生向け喫煙防止講演活動』

タバコと健康の会・静岡 × 健康づくり推進課



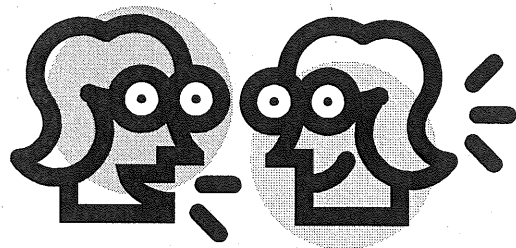
小中学生を対象にタバコの恐ろしさを講演し、無煙の自覚を促すことで自分の健康を自ら守るという意識を持たせる。

協働パイロット事業で出てきた課題

金額の縛りが
ない
提案を出したい!

単年度の事業
じゃなく、もっと
長期の事業が
やりたい!

もっとたくさんの
事業を、募集
してほしい。

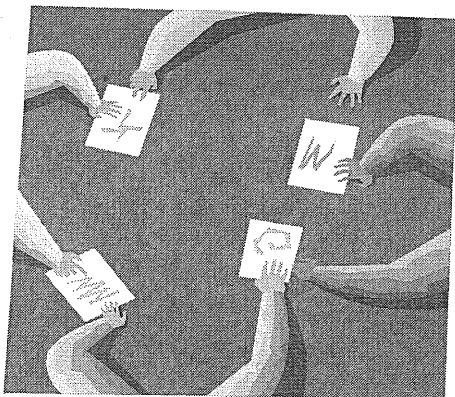


市民活動協働市場スタート

どんな提案でも受け止めて行きたい!

→市民活動協働市場

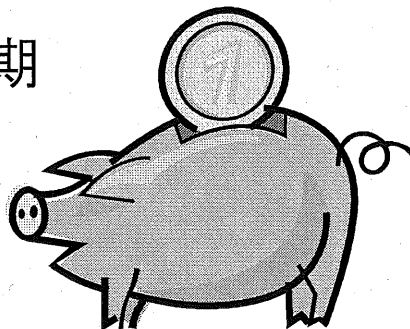
(いちば)



バザール＝
必要なものを
交換し合う場

市民活動協働市場の枠組み（予算）

- 予算要求
事業担当課が要求、執行
- 予算要求時期
選考後
- 選考から実施までの時期
複数年度型
- 1件あたり上限額
上限額なし



市民活動協働市場の枠組み（テーマ・協議）

- テーマ設定
自由テーマ型
指定テーマ型
(課題提示型)



- 協議
制度での協議の義務付けなし
(実質、契約前や実施中に協議)
-

市民活動協働市場の枠組み（選考）

■選考方法

書類選考（必要に応じヒアリング）

■選考機関

選考機関は設置しない

（事業担当課が中心となって選考。

市民活動促進会議に意見聴取）

■選考過程の公開

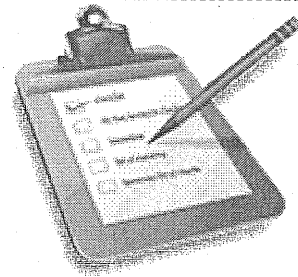
選考項目、選考理由を公開

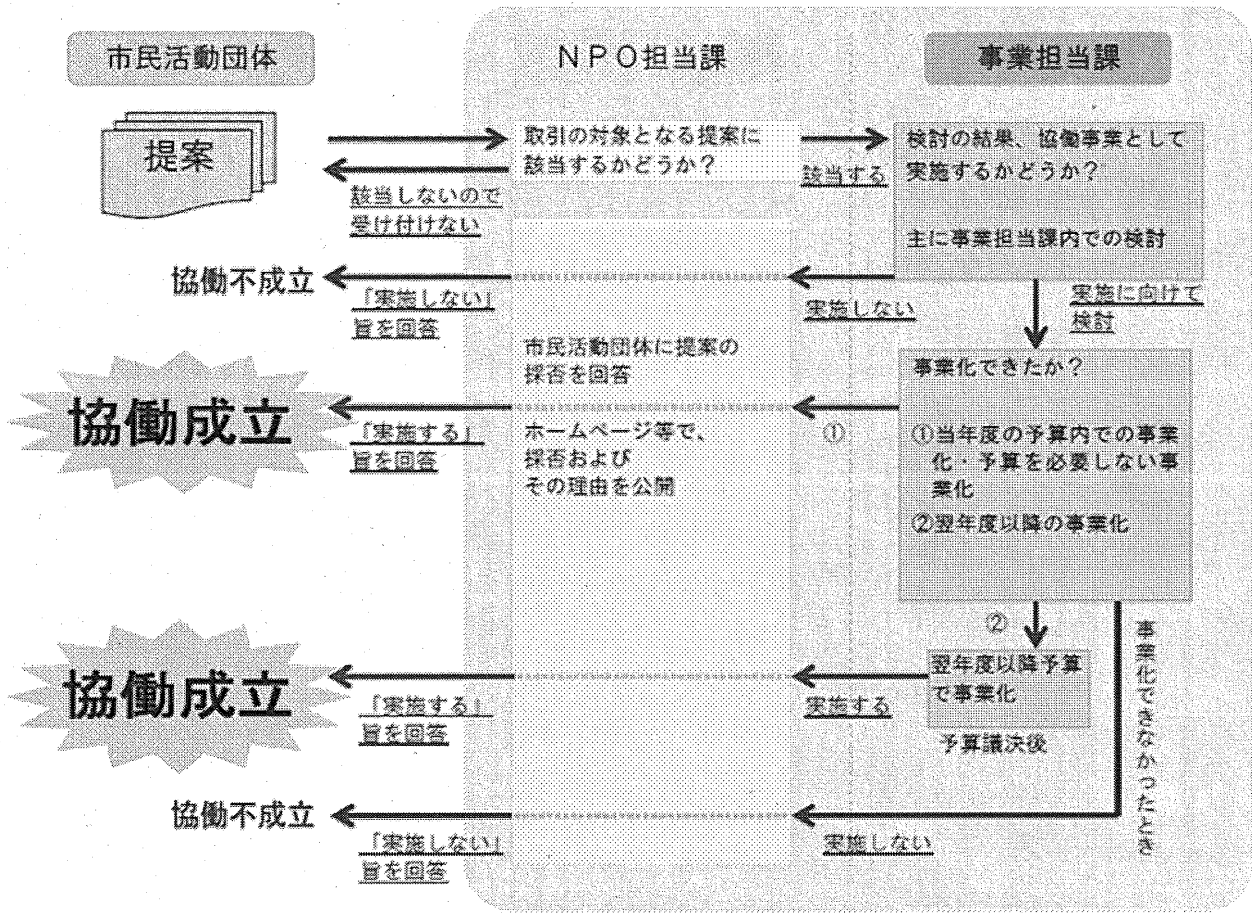


市民活動協働市場の枠組み（選考）

【 選考項目 】

- ① 公益性
- ② 市の施策としての妥当性
- ③ 実現可能性・実行可能性
- ④ 先進性・先駆性・モデル性
- ⑤ 緊急性・優先順位
- ⑥ その他、事業内容によって必要な視点





市民活動協働市場 採用事例①

大正ロマンin坐漁荘

NPO法人AYUドリーム × 観光課



元老西園寺公望の別邸である坐漁荘で大正時代を再現するイベントを行い、誰もが気軽に立ち寄れるまちづくりの拠点として情報発信を行う。

市民活動協働市場 採用事例②

労働相談 トータルサポート事業

NPO法人人財フォーラム × 商業労政課

個々で行われている「労働相談」
「メンタルヘルス相談」「就職相談」を一本化することで、労働に対する幅広い相談に対応する。

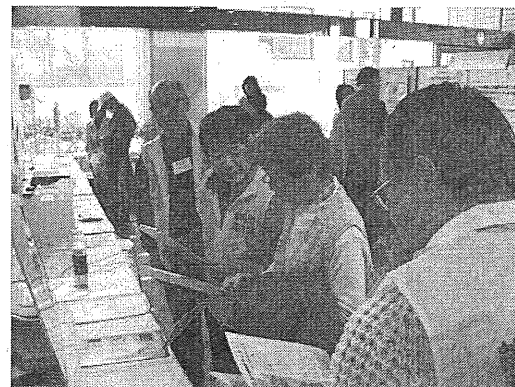


市民活動協働市場 不採用事例

循環型ローインパクト社会をめざす 廃食油BDF化と家庭ごみ削減事業

静岡市地球温暖化対策地域協議会

古紙回収啓発やバイオディーゼル燃料化のための廃食油回収を行い、資源化できるものは資源化することで循環型社会をめざす。



2つの提案制度のちがい

【協働パイロット事業】

- 25万円以内で提案
- 採用は4事業まで
- 年度内の執行
- 協働形態は
委託契約による
- 書類審査と面接で、
主に民間委員が選考

【市民活動協働市場】

- 予算について規定なし
- 採用数も規定なし
- 期間も規定なし
- 協働形態は事業による
(委託、委員会、共催…)
- 事業担当課が主となって
選考

協働事業提案制度とは？

協働事業提案制度がなくても、
行われている「協働」はある…

- ▶ 市民のアイデア・ノウハウを生かす
- ▶ 市民の主体性や責任感を高める
⇒ より効果的な協働事業ができる

市民が「言いだしっぺ」になる仕組み

ご清聴ありがとうございました。



